

議員定数等に関する調査報告

日田市議会議員定数等調査特別委員会

令和8年2月10日

日田市議会

議長 三 苫 誠 様

日田市議会

議員定数等調査特別委員会

委員長 井上 正一郎

議員定数等調査特別委員会の調査報告について

昨今の物価高騰や厳しい財政状況、人口減少、更には、議員のなり手不足や議会の見える化などさまざまな課題がある中で、日田市の将来を見据え、市議会が二元代表制のもと地方自治の一翼を担う存在として、市政の発展の役割を果たし得る議員の定数等について、調査及び研究を行うため、令和7年3月に「議員定数等調査特別委員会」が設置され、これまで15回の委員会を開催するとともに、視察研修（勉強会）の開催や市民の皆様からご意見をお伺いするために「住みよい日田市」と「議会のいま」を考える市民懇談会を開催し、日田市議会における適正な「議員定数」及び「議員報酬」について幅広く15回の議論を重ねてまいりました。

その結果、本委員会として、議員定数においては、現在の定数22名から2名減とした20名とする見直し案を決定しました。

なお、議員報酬については、引き続き協議中であります。

また、本特別委員会での議論の過程や市民懇談会におけるご意見については、別添の「議員定数等調査特別委員会調査報告書」に取りまとめておりますので、併せてご報告いたします。

調査報告書

1. はじめに

日田市は平成17年3月22日に旧日田市と2町3村（前津江村、中津江村、上津江村、大山町、天瀬町）が合併して、現在の市域になり、新市誕生から21年の月日が経過している。合併後は、広域化した行政運営を安定させるため、行財政改革や公共施設の見直しを進めてきた。近年は「まち・ひと・しごと創生」総合戦略や過疎地域持続的発展計画に基づき、雇用創出、子育て支援、移住・定住促進、地域活動支援を重点化している。一方で、人口減少と高齢化、生産年齢人口の縮小が続き、中山間地域では担い手不足や生活交通などの暮らしの維持が課題となっている。

日田市議会の議員定数については、合併時の残任特例期間以降、平成19年の改正時に28人、平成23年の改選時に24人、平成27年の改選時において22人とし現在に至っている。

現在の日田市を取り巻く諸事情を踏まえ、「議員定数」及び「議員報酬」について、調査及び研究を行うため、令和7年3月に「議員定数等調査特別委員会」が設置された。

2. 目的

適正な「議員定数」及び「議員報酬」を調査・研究するため。

3. 委員構成（9名）

委員長 井上 正一郎

副委員長 岩見 泉哉

委員 石橋 邦彦 日隈 知重 坂本 茂 居川 太城

梅原 竜也 梶原 信幸 宮崎 陽治

4. 委員会の開催状況

本委員会は、適正な「議員定数」及び「議員報酬」を調査・研究するため、委員会運営の基本的な考え方、進め方として次の工程により調査・研究を行った。

①スケジュールの作成

②基礎資料等の整理・収集

- ③調査資料の比較・分析
- ④研修会の開催
- ⑤市民との意見交換会
- ⑥特別委員会内での意見集約
- ⑦特別委員会の報告

以下は、本委員会の開催状況

開催期日	協議事項等
第1回特別委員会 令和7年3月26日（水）	■正副委員長の互選
第2回特別委員会 令和7年4月11日（金）	■県内各市議会の動向 ■スケジュール（案）について
第3回特別委員会 令和7年4月25日（金）	■県内各市議会の政務活動費の状況について ■スケジュール（案）について ■具体的な取組内容について ・市民意識調査の方法について ほか
第4回特別委員会 令和7年5月26日（月）	■議員研修会の開催について ■スケジュール（案）について ■具体的な取組内容について ・市民意識調査の具体的な内容について ■基礎資料の作成について
第5回特別委員会 令和7年6月4日（水）	■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について ・講師について ・開催時期について
第6回特別委員会 令和7年6月20日（金）	■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について ・講演会のタイトル・テーマについて ・開催場所について ・募集人数について ・募集方法について
第7回特別委員会 令和7年6月26日（木）	■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について ・講演会やグループワーク等の実施内容及び時間配分について

	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の実施に内容 ・募集人員 ・講演会のタイトル・テーマについて ・募集方法について
第8回特別委員会 令和7年6月30日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について <ul style="list-style-type: none"> ・講演会のタイトル・テーマについて ・募集方法について
視察研修（勉強会） 令和7年7月7日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ■視察研修（勉強会）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容：「議員定数」及び「議員報酬」の見直しへの取組について ・講 師：佐伯市議会議員
第9回特別委員会 令和7年7月16日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について <ul style="list-style-type: none"> ・募集方法について ・委員の役割分担等について
第10回特別委員会 令和7年7月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民意識調査の実施に伴う事前研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター研修
第11回特別委員会 令和7年7月31日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民意識調査の実施に伴う具体的な内容について <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査内容について ・意見交換会（グループワーク）の進め方等について ・市民懇談会の全体的な流れについて
「住みよい日田市」と 「議会のいま」を考える 市民懇談会 令和7年8月23日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民懇談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 <ul style="list-style-type: none"> テ ー マ：「多様性のある議会と議員の役割」 講 師：(株)廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏 参加者数：58名（うち、市内の高校生9名） ・意見交換会（グループワーク） <ul style="list-style-type: none"> テ ー マ：「議員定数・議員報酬を考える」 参加者数：41名（うち、市内の高校生9名） ・アンケート調査の実施
第12回特別委員会 令和7年10月1日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■市民懇談会における意見集約等について <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会（グループワーク）での意見について

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果について ■今後の具体的な取組内容について
第13回特別委員会 令和7年10月29日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の具体的な取組内容などについて
第14回特別委員会 令和7年12月17日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■「議員の定数」と「議員の報酬額」及びそれに伴う根拠資料について
第15回特別委員会 令和8年1月16日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ■「議員の定数」と「議員の報酬額」について ※「議員の定数」については、委員会としての結論に至ったが、「議員報酬」については、引き続き協議を行う。

5. 基礎資料の概要

適正な「議員定数」及び「議員報酬」の在り方を検討するに当たり、大分県内の他市の状況及び全国の同規模類似団体の自治体の状況について調査を行った。

(1) 大分県下の14市の状況について

「人口」、「議員定数」、「常任委員会数及び定数」、「議員一人当たりの人口」、「議員報酬」、「政務活動費」について調査した。

(2) 全国の類似団体の状況について

全国の人口5万から10万人の類似団体の状況については、下記の項目について調査を行った。

「面積」、「人口」、「議員定数」、「常任委員会数及び定数」、「議員一人当たりの人口」、「議員報酬」について調査した。

6. 視察研修（勉強会）の開催

更に議論を深めるため、「議員定数条例の改正」（令和5年6月条例改正）及び「議員報酬の改正」（令和6年3月改正）を行った佐伯市議会へ訪問し、「議員定数及び議員報酬の見直しへの取組について」と題し、佐伯市議会議員を講師として、これまでの経緯と特別委員会での検討状況等について、意見交換会を行った。

7. 市民懇談会の開催

市民の皆様から「議員定数」及び「議員報酬」についての意見を伺いするため、「住みよい日田市」と「議会のいま」を考える市民懇談会を開催した。
市民懇談会の内容としては、下記のとおりである。

(1) 講演会

テーマ：「多様性のある議会と議員の役割」

講師：(株)廣瀬行政研究所

代表取締役 廣瀬和彦氏

参加者数：58名（うち、市内の高校生9名）

(2) 意見交換会（グループワーク）

テーマ：「議員定数・議員報酬を考える」

参加者数：講演会参加者のうち、41名（うち、市内の高校生9名）

8. 市民懇談会における主な意見

(1) 意見交換会（グループワーク）の主な意見

① 議員定数に関する主な意見

- 現状維持。ただし、年に2回、活動報告を行うこと。
- 定数を16人とする。
- 定数を18人とする。（常任委員会 3 常任委員会×6人）
- 定数を20人（人口：60,000人（1人×3,000人））とし、議員報酬を引き上げる。
- 議員の質を高めるため、定数を減らす。

② 議員報酬に関する主な意見

- 活動が不透明なため、現状維持
- 政務活動費を上げれば、報酬はそのままよい。
- 市民が納得のできる成果であれば、報酬を増額してもよい。
- 定数を削減し、報酬を上げる。

(2) アンケート調査の主な意見等

① 議員定数におけるアンケート調査結果

- ① 多くてよい（8%） ② 現状でよい（20%）
- ③ 少なくてもよい（31%） ④ わからない（25%）
- ⑤ 無回答（16%）

◇議員定数に関する主な意見

- 市民の声をより多く拾うには少ないと思う。
- 今の定数で人手が足りていると思う。
- 定数は、3常任委員会×5人=15人+議長=16人がよいと思われる。

- 定数は、3 常任委員会×6 人=18人+議長=19人がよいと思われる。
- 人口減少に伴い、適正人数を算出すること。

② 議員報酬におけるアンケート調査結果

- ① 多くてよい (45%) ② 現状でよい (12%)
- ③ 少なくてもよい (0%) ④ わからない (14%)
- ⑤ 無回答 (29%)

◇議員報酬に関する主な意見

- 議員の平均年齢に対する報酬としては少ない。
- 民間の賃上げと物価に応じた報酬にすべきと思う。議員のなり手がなくなる。
- 議員活動の評価ができれば上げてよいと思う。
- 適切だと感じた。

③ その他の意見

- 市民との関りをもつこと。
- 地域との話し合いを定期的にする。
- 地域の課題を知ること。
- 本会議と委員会の「見える化」として、ユーチューブで放送すれば、議員の活動が見えてくると思う。
- 今回の市民懇談会はよかった。年1回ぐらい開催して「今審議してもらいたい事項」について意見を聴取してもらいたい。

9. 特別委員会内での意見集約

これまでの特別委員会での度重なる協議及び市民との意見交換会を踏まえ、議員の定数について、特別委員会内で意見集約を行った結果、「現状維持」、「定数減」の二通りの意見に分かれたが、結果としては、定数減が多数を占めた。

10. 特別委員会としての「議員の定数」における結論

令和8年1月16日(金)に第15回議員定数等調査特別委員会を開催し、「議員の定数」については、以上の結果を踏まえるとともに、議員個々の考えを十分に考慮し、現在の定数22名から2名減の20名とする見直し案を決定した。

なお、「議員の報酬額」については、引き続き協議を行う。